

イースター(復活祭)の意味をご存知ですか？



世間一般でも今では「イースター」が有名になってきました。100円ショップにもイースター・コーナーがあり、ディズニーランドでもイースター・パレードがあつたりします。玉子の日と思っている人もいるかもしれませんが、玉子は「新しい命」を象徴するもので、カラーリングしたエッグ・ハント(玉子探し)をしたりします。

イースターは、イエス・キリストが「復活」されたお祝いの日。キリスト教の中心は「十字架(の死)と復活」です。私たち人間の罪を赦すために十字架で身代わりとなり死んでくださったキリストは、3日目によみがえられました。No Cross No Crown(十字架なくば冠なし)という言葉があります。死があつてこそその復活であり、復活がなければ、人生の終わりは死にとどまってしまう。

この「死と復活」は、ひとりとして漏れることなく私たちの人生と関係しています。誰もがいつか死を迎えますが、キリストに信頼するならば、「復活する日」が来ると、聖書は明確に伝えています。それが福音＝喜びの知らせ！なのです。キリストの言葉に耳を傾けてみましょう。

「わたしはよみがえりであり、命である。

わたしを信じる者は、たとひ死んでも生きる。」ヨハネ福音書11章25節

人生は死で終わりではありません。「死んでも生きる」とは、永遠の命をいただいて天国で生きることができるという意味です。ですから、キリストの言葉に信頼することは、《人生最大の終活》です。誰もが避けて通ることのできない死、自力では乗り越えられない死と葬り(埋葬)、その先に、希望があるのです。「墓石はすでに転がされました。」それは、キリストが復活されたことで、人生の「Dead End(行き止まり)」に、新たな道・救いの道が開かれたことを意味します。

難しいことはありません。キリストの十字架の死と復活が私のためであつたことを認め、心で信じ、口で告白するならば、誰もが「復活」を体験できます。本当の意味で「イースター」をお祝いするチャンス逃さないでください、なぜなら、すでに「石はころがしてある」のですから…

本日のプログラム (11:00-12:10)

ご挨拶

ゴスペル(賛美) 御名を掲げて

黙禱/司会者の祈り

賛美 聖歌396番 十字架の陰に泉わきて
傷跡/慕い求めます

主の祈り

聖書朗読 マルコによる福音書16章1～8節
(口語訳・新約聖書 P.81)

特別賛美 《God Bless You》歌:宮川由起子さん(ゲスト)

メッセージ: 石はすでにころがしてあつた

倉知契 牧師

賛美と献金 主よあがめます

頌栄 主はいま生きておられる
祝禱

報告

TODAYS Ministry Team

リード: 倉知契師 ピアノ: 小島明美さん
ベース: 大神美乃さん ドラム: 天竺寛治さん
アシスト: 平勢美奈子さん・ジェユンさん・天竺恵子さん

司会: 深谷浩昭さん 聖書朗読: 神林玲菜さん

受付: 太田昌子さん

献金係: 小栗良子さん・深谷泰子さん

メディア: 大神真伸さん・小木秀夫さん

【チャペル・ニュース】

- ◆皆様を心から歓迎します！ゲストの宮川さんご夫妻に感謝！
礼拝後、イースター祝会(お食事)があります。ぜひ一緒に良い時を。
※参加費は、大人も子供も、ひとり300円です。持ち寄りして下さった方はなし。
- ◆水曜、牧師は、シルバーホームまきば(日進)でイースター演奏会あり。
- ◆木曜お祈り会は10時半～12時。祈りの小径パンフレット/YouTubeでも！
- ◆米田香さんが水曜から、ゴスペル・ピアノで沖縄宣教！お祈りください。
- ◆天竺さんご夫妻・転入会式は、来週(4/7)です！4月の聖務表を確認ください。
- ◆病や困難の中の方、術後の回復、新年度・新学期のため祈ります！

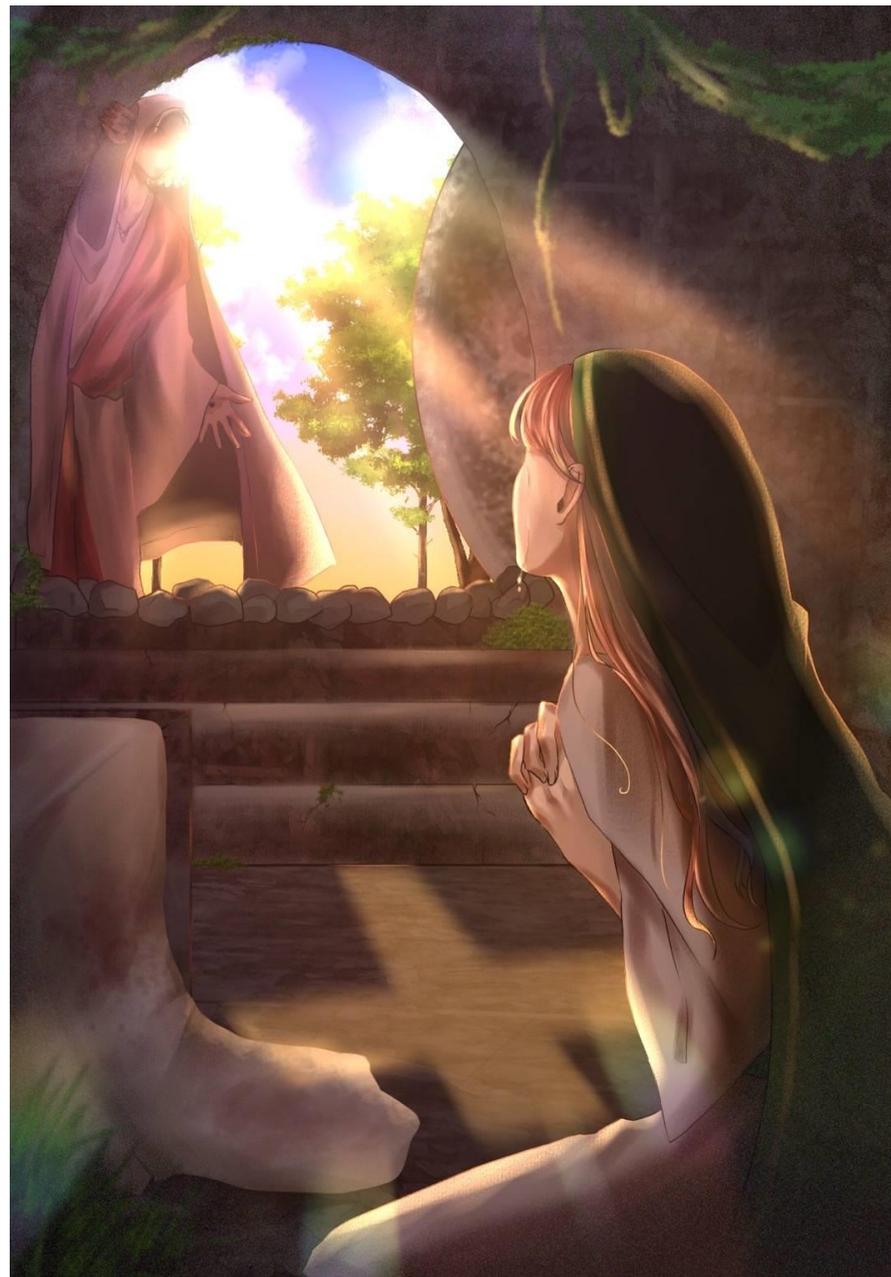
Message Note

「復活という奇跡の目的」 キリストの復活が私たちに何をもたらせたのか

1. _____ を打ち破られた！
2. _____ ・ _____ を開いてくださった
3. イエス様は今も生きておられ、私たちに「_____」と願っておられる。
=復活は「_____」です！

瀬戸カルバリーチャペル × Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
主任牧師:大川従道 担当牧師:倉知契 kei.kurachi@gmail.com
日曜礼拝 朝 11 時//木曜祈禱会 朝 10 時半//ジョイキッズ 日曜朝 9 時45分



復活の光景に込められたメッセージをご堪能ください。アサリオン(高野ご夫妻)の娘さん・恵(けい)さんの作品。

2024.3.31
イースター(復活祭)